

春の目覚めを迎えた秘境秋山郷を巡る旅

イヤホン
ガイド付
抽選
企画

布岩

長い岩が何枚も布を垂らしたように見えることから名づけられた柱状節理の絶壁岩です。鳥甲山の火山活動の痕跡を見ることが出来ます。



秋山郷布岩

マタギの話

かつて秋田から流れてきたマタギの子孫の方に秋山郷の生活や猟の様子などのお話を伺います。



マタギの宿出口屋

甘酒村跡

天保の飢饉(1833～1836)により全滅した村の跡で天明・天保の飢饉のときの話を聞きます。秋山郷入り口の津南町まで戻り、十二峠を越えて越後湯沢駅から新幹線で東京へ帰ります。

旅行期間	2024年6月2日(日)～6月3日(月)		
旅行代金	2名様1室利用 (お一人様) ※1名様1室 追加代金3,300円(1泊)	79,200円	募集人員 15名様 (最少催行人員10名様)
宿泊ホテル	六日町温泉 龍氣(和洋室)		

東京駅(10:15発) → (JR上越新幹線) → 浦佐駅(11:42着) →	
1	バス移動(15分) → 樺苑にて昼食 → ◎魚沼の里 → 16:00頃 龍氣にチェックイン 食事:朝×・昼○・夕○【龍氣(泊)】
ホテル出発(08:30頃) 秋山郷へ → バス移動(60分) → ◎見玉公園 → ◎見玉不動尊拝観 → ◎見倉のつり橋 → 「萌木の里」にて 昼食 → ◎ブナのトンネル → ◎布岩 → ◎出口屋旅館(マタギの話を伺います)(約30分) → ◎甘酒村跡 → (トイレ休憩) → バス移動 2 → 17:40頃 越後湯沢着 越後湯沢駅(18:12発) → (JR上越新幹線) → 東京駅(19:36着) 食事:朝○・昼○・夕×	

★本企画は抽選受付です。締切日:3月22日(金) 抽選結果は3月25日(月)以降、順次ご連絡します。

- 添乗員/同行します
- 食事/朝食1回、昼食2回、夕食1回
- 交通機関/JR(新幹線普通指定席)、小型貸切バス(予定運行会社/昭和観光)
- 集合場所/東京駅新幹線ホーム
- ご案内 ※天候・道路状況により観光順序を入れ替える場合がございます。 ※上野駅、大宮駅からのご乗車も可能です。お申込み時にご連絡ください。 ※スケジュールは天候状況、現地事情により日程の一部が変更される場合があります。

コース番号:11-8031-0000



見玉公園から対岸の石落とし

秋山郷は信濃川の支流・中津川の上流域、新潟県と長野県にまたがる深い峡谷地帯に点在する集落の総称です。かつて冬は深い雪に閉ざされ外界との行き来が困難だった秘境といわれる地域に平家落人の伝承やマタギ文化など独特の文化と風習が現在でも生活様式に色濃く残っています。先人の知恵と厳しくも豊かな自然とともに生きる秋山郷の人々の暮らしや歴史・文化の一端に触れる旅です。長い冬から目覚めた雪国にとっては喜びの季節を迎えた秋山郷を専門ガイドとともに巡ります。道路が細く大型車の通行ができないためマイクロバスで奥まで進みます。

1日目 旅の始まりは米どころ魚沼地方から

魚沼は西側になだらかな魚沼丘陵、東側に峻険な越後山脈、真ん中を信濃川の支流・魚野川の流れる南北に長い地域です。冬の豪雪がもたらす豊富な水と気候が魚沼産コシヒカリや淡麗な日本酒など雪国独特の食文化をはぐくんできました。この時期は田植えが終わり水がはられた田が美しい季節です。昼食は築150年の典型的田舎家作りの「樺苑」で、地元の食材を生かし一つ一つ丁寧に調理された郷土料理をいただきます。午後は八海山酒造の「魚沼の里」で散歩や日本酒の試飲、お買い物など思い思いにゆっくりしましょう。カフェで一休みすることもできます。お宿は効能が高いと各地から湯治客の来る自慢の5種類のお風呂が楽しめる天然温泉「龍氣」です。ゆっくりとご入浴を楽しんでください。



樺苑

2日目 いよいよ秋山郷の奥まで

津南見玉公園 地元では「石落とし」といわれる柱状列石の美しい絶壁を中津川の対岸から眺められる津南見玉公園から秋山郷の旅が始まります。太古の昔、苗場山と鳥甲山の噴火による溶岩が堆積し中津川の浸食によって作り出された地形を見ることが出来ます。柱状列石の上の若い緑の美しさ、何度も繰り返されてきた溶岩の層はこの季節にしか見ることができません。

見玉不動尊

岩石の間から雪解けで水量の増した清水が流れ落ち各所にできた滝を見ながら杉の巨木の参道を上ると昔から眼病に霊験があると伝えられ、平家伝説の残る見玉不動尊の古い本堂がひっそりと建っています。



見玉不動尊の参道の滝

見倉橋

結束集落と見倉集落を結ぶ木製のつり橋です。冬期間は除雪をしないので渡れません。橋下には中津川深谷の春の絶景が眺められます。昨年は修復工事中で渡ることができませんでした。



見倉橋

萌木の里

秋山郷の春のごちそうは山菜です。春の目覚めとともに次々にいろいろな山菜が顔を出します。昼食は地元ならではの取れたての山の幸をいただきます。午後は新緑のブナのトンネルを通して布岩に向かいます。途中右に鳥甲山、左に苗場山と二つの山を同時に見ることが出来ます。



ブナのトンネル